



ひぐち英明

日本共産党 京都市議員

市議会報告
2015年
9月

URL <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/> E-mail h-hide@myad.jp

2016年2月 市政を変えれば みなさんの願いを実現できます

- 敬老乗車証を守る
- 修学院保育所を市営で存続させる
- 介護の充実で雇用も拡大

社会保障制度の改悪方針を転換します。敬老乗車証は無料で乗り降りできる制度を存続させます。

修学院保育所をはじめとした市営保育所は、障害児の受け入れのための予算を厚く配分するなど、地域の保育環境を充実させ

る役割を担ってきました。コスト削減を目的にした民間移管方針を撤回し、市営保育所として維持・発展させます。

また、介護保険制度の改悪を、京都市としてできるだけカバーし、介護にかかわる職員の充実で雇用を創出します。



廃止方針の市立修学院保育所

→ 現市政は、敬老乗車証制度改悪と修学院保育所の廃止方針を出し、介護保険も国いいなりに改悪を容認。

● 左京北部中山間地を 活性化させる

いつまでも住み続けられる地域づくりを本格的に進めます。久多・広河原・花背・別所・鞍馬・静原・大原・八瀬などの地域は、人口減少や災害対策、獣害対策など、市内周辺部特有のたくさんの課題を抱えており、地域のみなさんがそれぞれ取り組みを強めています。

行政としての役割を強化するために、区役所に中山間地振興対策の部署を設置します。

また、花背峠トンネル化の検討をはじめます。



花背峠トンネル化を求める看板

→ 現市政は、住む地域を限定する「居住の集約」を検討するとしています。

● 地域の防災対策に 迅速に対応

豪雨に対応できる山林を保全しようと思えば、これまでの林業支援だけでは限界です。防災対策の視点で山林の保全対策を進めます。消防団や自主防災会など、地域の取り組みをしっかりと支え、京都市としての対策を具体化するために、区役所の防災担当職員を増やします。

土木事務所や消防署、まち美化事務所と区役所の連携を強化し、災害の際の復旧に素早く対応します。



7月の豪雨で境内が砂に埋もれた波切不動明王

→ 現市政は、消防署や土木事務所の職員も減らしています。

→ 区役所機能を抜本的に強化して、住民の願い実現へ

上記のことを実現するために、防災でも地域の課題解決でも、なんでも区役所に相談すれば迅速に対応できるだけの体制と予算を区役所に配分します。例えば災害対応の場合、今は関係する部署への対応窓口は区役所になっていますが、防災専任の係長が1人

ですべてに対応することには無理があります。現在、市役所が担当している、土木事務所や商業担当部署などを区役所に組み入れ、各区役所が独自に道路を直したり地元業者の支援に当たれるようにすることで、地域のみなさんとの連携もより充実したものになります。



予算と体制・権限の強化が求められる左京区役所